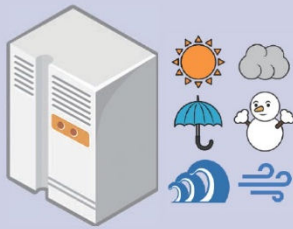


供用係数算定システム

供用係数算定システムは、「気象海況情報システム」で取得した降水量、風速、波高を基に、より実態にあった作業船の供用係数を算定することができます。
 また、算定結果が簡単に参照できるよう、WEBブラウザで視覚化されています。
 長崎県においては、供用係数算定システムを活用し、漁港工事における供用係数の見直しに取り組んでいます。

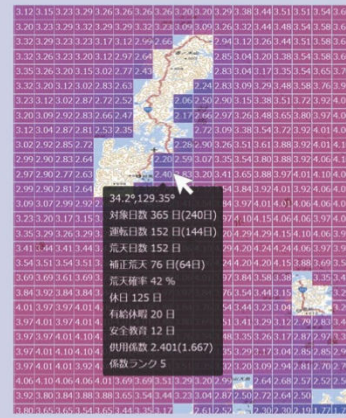
荒天日数・供用係数の再設定の考え方



クラウドサーバに蓄積された気象海況情報を基に、実態に即した荒天日数を算出

$$\text{供用係数} = \frac{\text{運転日数} + \text{休日数} + \text{安全教育日数} + \text{荒天日数}}{\text{運転日数}}$$

システムの視覚化



Webアプリで視覚化された実態供用係数

長崎県での取り組み事例

長崎県の漁場工事は、沖合での作業が主であり気象海況の影響を受けやすく、現行の供用係数と実態との乖離の発生が多いことから、調査検討を行った結果、積算（供用係数2.05）と実態とに乖離があったことが明らかとなりました。
 令和3年度の漁場工事には新たに算定された供用係数の試験的運用が行われます。

